

会 議 録

会議の名称	平成23年度第4回川越市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成24年1月17日(火) 14時00分開会 15時30分閉会
開催場所	市役所7階第5委員会室
議長(委員長・会長)氏名	会長、副会長
出席者(委員)氏名(人数)	17名
欠席者(委員)氏名(人数)	4名
事務局職員職・氏名	森部長、島田参事、奥富参事、田中参事、益子課長、川野課長 百瀬副課長、小峰副課長、波田野主査、阿部主査、岡田主任
傍聴者	2名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第3回審議会における質問事項に対する回答 (2) 減量施策としてのごみ有料化の効果について 4. その他 5. 閉会
配布資料	会議次第 川越市廃棄物減量等推進審議会委員名簿 第3回審議会における質問事項に対する回答(資料1) 減量施策としてのごみ有料化の効果について(資料2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司 会	<p>定刻となりましたので、平成23年度川越市廃棄物減量等推進審議会を始めさせていただきます。</p> <p>審議会委員の皆様には、大変お忙しい中、本審議会にご出席くださいます。ありがとうございます。</p> <p>私は、本日司会を担当いたします、資源循環推進課副課長でございます。よろしくお願いいたします。</p>
出欠の確認	<p>本日の出欠でございますが、4名の委員さんが欠席となっております、1名の委員さんにつきましては、遅参という連絡をいただいております。</p>
司 会	<p>本日は、21名の委員さんの内、17名の委員さんにご出席いただいております、川越市廃棄物減量等推進審議会条例第5条第2項に基づきます過半数に達しておりますので、会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>それでは、当審議会の会長の会長さんにごあいさつをいただきたいと思います。</p>
会長挨拶	<p>【会長挨拶】</p>
司 会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の提出資料の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 川越市廃棄物減量等推進審議会委員名簿 ・ 第3回審議会における質問事項に対する回答（資料1） ・ 減量施策としての有料化の効果について（資料2） ・ 第3回川越市廃棄物減量等推進審議会会議録 ・ 川越市廃棄物減量等推進審議会の審議日程について（案） ・ 川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編 平成23年3月作成（貸出用） ・ 川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編 平成16年度作成（貸出用） ・ 市民アンケート結果報告書（貸出用） <p>でございます。</p> <p>不足書類がある方いらっしゃいますでしょうか。</p>

事務局	次に、議題に移りたいと思いますので、川越市廃棄物減量等推進審議会条例第4条第2項の規定に基づき、会長さんに議長となっただき、議事を進めていただきたいと思います。会長さん、よろしくお願いいたします。
議長	<p>それでは、ただ今から、議長を努めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>まず議題に入る前に第3回の会議録の確認を事務局よりお願いいたします。</p>
事務局	会議録の確認について、資源循環推進課長より確認させていただきます。
事務局	【会議録の確認】
議長	それでは、議事に入りたいと思います。まず、議題（1）第3回審議会における質問事項に対する回答を、事務局よりお願いいたします。
事務局	第3回審議会における質問事項についてを、資源循環推進課長・収集管理課長・資源循環推進課主査よりご説明いたします。
事務局	【説明】資源循環推進課長・収集管理課長・資源循環推進課主査説明
議長	何か、質問などございますでしょうか。
	【質疑応答】
審議員	<p>一番初めに説明をいただいた目標値についてですが、この時点ですでに目標を達成しているという説明は分かりました。また、平成21年度は520gで目標を達成していないという説明は分かりましたが、平成22年度の実績値が分かれば教えていただきたいのですが。</p> <p>次に埼玉県内他市の有料化実施前後のごみ排出量の推移についてですが、埼玉県内でも有料化をした後にやめたところがあると思うのですが、そのあたりは把握しているのでしょうか。</p>
事務局	与野市がさいたま市と平成13年5月1日に合併した際に有料化をやめております。あと、鶴ヶ島市（平成20年4月）や毛呂山町とい

審 議 員	<p>ったところも坂戸市と同じような原価で指定袋を販売する制度を実施していましたが、現在は、指定袋制度をやめております。</p> <p>やめた理由は分かりますか。</p>
事 務 局	<p>与野市については、浦和市、大宮市と合併する際に、話し合いの結果やめたということです。鶴ヶ島市等については、指定袋製造の際、原料の石油価格の上昇により、製造が困難となったことによりやめたと聞いております。ただし、坂戸市については引き続き実施しておりますので、指定袋の安定供給に留意すれば有効な手段だと考えております。</p>
審 議 員	<p>ただいま口頭で回答をいただきましたが、次回で結構なのでやめた市町村の理由等を報告していただければと思います。</p>
事 務 局	<p>次回に先ほどの平成22年度の実績値と併せて、報告をさせていただきます。</p>
議 長	<p>続きまして、議題（2）減量施策としてのごみ有料化の効果についてを、事務局よりお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>減量施策としてのごみ有料化の効果についてを、資源循環推進課主査よりご説明いたします。</p>
事 務 局	<p>【説 明】資源循環推進課主査説明</p>
議 長	<p>何か、質問などございますでしょうか。</p>
審 議 員	<p>ごみの有料化は資源化及び減量に繋がる理想的な施策ということは分かりましたが、現実に施設を運営するに当たって、特に可燃ごみですけど、これ以上のリサイクルを進めて、ハイカロリーの廃プラスチックや紙のリサイクルを進めて施設の運転は可能なのでしょうか。現在、資源化センターではタービンなどを運用しているみたいですが、カロリーが減っていくと化石燃料をといた弊害も出てくると思うのですが、運転上は減量を進めていった方がよいのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>焼却施設については、計画したごみ質というのがありますので、このごみ質をにらんでそれらの施策をしていかなければなりません。確か</p>

<p>審 議 員</p>	<p>に紙ごみ等を減量しますとカロリーの的にあると思いますが、ただいま市の方では水切りを進めておりますので、他の施策と合わせながら、計画的に運転をしながら減量を図っていきたいと考えております。</p> <p>ご説明は有料化ありきということで、説明をいただき、前回までの審議会でいろいろなデータ等をお示しいただいたのですが、市民の方はこれまで市の施策に協力をしてきて着実にごみ減量をしてきたわけで、確かに520gというのはまだ目標に達しておりませんが、ごみの量は着実に減ってきている状況の中で、ごみ有料化を実施するべきではないと思うのですが、審議会の中間報告ということで、実施ありきという報告をしてよいのか皆さんに審議していただいて次期尚早なのかということについても、皆さんの意見を聞いていただきたいと思います。</p>
<p>審 議 員</p>	<p>私も、有料化をしましょうといった感じで話が進められているように思うのですが、有料化に当たっては何が足りなくて有料化するのか、どこにお金が足りなくて有料化するのかということが何も見えてなくて審議している状態なので、そこらへんのことをはっきりしないと審議員の皆さんも納得しないし、国の方からやりなさいということやるということではないと思うので、川越市としてはこうしたいといった旗でも掲げないといけないと思います。</p>
<p>副 議 長</p>	<p>今までは、議長の補佐として特に主だった発言等はしておりませんが、有料化ありきという話はたぶん将来的には有料化をせざる得ない状況になるのではないかと考えております。そういう状況になった時に有料化の議論を始めてもどうしようもない状態になってしまう危険性もありますので、今すぐ有料化をするということでもなく、こういった審議会の中で仮に有料化をした場合といったシュミレーションをしながら有料化をする場合にはこういった段取りで行った方がよいのではないかとといった話し合いをするべきだと思います。今日頂いた審議日程表では、次回2月に審議会を行って、次に中間報告を市民の方に示して、その示したアンケートによって平成24年度に審議会としての答申又は答えを皆さんの合議を得てまとめていくのだと思います。ただ、この4月上旬での日程では無理があるのかなと思いますので、この2月の審議会の後にと1、2回審議会を開いていただき、市の方でも制度設計等を行うと思うので、どういう方針でやりたいのかということを示していただきたいと思いますということが1点、それとお金のことだけではなく、市は市民の方からお金を頂くわけなので、市とし</p>

	<p>ては収集の方法を変えますとか、スタンスの内容を変えますとかということもあると思いますし、今行っているステーション方式については今後むずかしい状況になってくるのかなと思いますし、集積所を提供してくれる方も減少してくると思うので、そういったことを考えると最終的な理想としては戸別収集であり、自分の出したごみにちゃんと責任を持ってもらうというのが望ましいのかなと思いますが、そうすると収集費用が嵩むということで、そういうことに使うから有料化させてくださいといった形に持っていければよいかと思います。</p>
<p>審 議 員</p>	<p>副議長さんの話のとおりだと思います。有料化という全体の流れというのは、私も否定はいたしません。ただ、川越市民は以前より減量化の努力をしてきていることからすると、何をもって有料化にするのかということをごきちん確認した方がよいかと思います。例えば現在はごみの排出量が減少傾向であります、減少量がなくなって排出量もこれ以上上げるには有料化をということで、何をもって有料化に踏み切るのかという審議をしていただければと感じます。</p>
<p>副 議 長</p>	<p>有料化についてはまずごみを減らすことと公平性の確保だと思います。一生懸命ごみ減量をされてる方と制限なしに出されている方が全く同じだとか、事業系のごみも小規模事業の方なども事業系ごみを家庭ごみと一緒に排出している方がいるのも事実であり、事業系ごみをちゃんと業者さんに頼んで産業廃棄物として処理されている事業さんもいる中で、公平性をどう確保していくかということでも有料化というのは、有効な施策なのかなと感じていますが、有料化を来年または再来年実施するというのではなく、段階を踏んで市民の方に理解を得たうえで、有料化の方向にもっていければと思っています。</p>
<p>審 議 員</p>	<p>有料化についての審議は以前より行った方がよいのではないかと思います。川越市としては、有料化ありきではなく、有料化したらどのような効果が得られるかということを出していくということで、今回の審議会はとても有意義なものだと考えます。いままでの審議会では有料化ありきではという意見がある中でもう一度有料化をすることが良いのか皆さんで審議することが必要だと思うのですが、やはり市民の方の意見を早く聞いた方がよいかと思います。それともうひとつ、説明にありましたシュミレーションについて、どのくらい負担が変わってくるかといったところを見てみると、20リットルの袋を1人当たり52枚配布とありますが、市が税金を配るということですが、現在集積所に出されているものは誰が出したか解らないわけで</p>

すが、レジ袋が圧倒的に多いのでしょうか。私はそこも知りたいのですが、もしレジ袋が多いのであれば頂いている分については、最終的に世帯の人数が3人以上であれば0になるわけですね。年間の袋代については、これを見ると袋をもらえればレジ袋を使わなくて済むといった考えと、今までレジ袋をごみ袋として使っていた方に対して今後どのような扱いにしていくのかということもあり切り替え時には混乱になると思います。一時は皆さんが坂戸市みたいに赤い袋で配られると赤い袋で出さないと目立つからということで赤い袋で出すかもしれませんが、時期がくると徐々にわからなくなってしまうと思います。レジ袋についてもこの議論の中に入れてもらわないと思いますし、将来は有料化袋以外で排出されることも懸念されますので、無料で配布するといったことも含めて再検討する必要があると思います。

次にアンケートですが、全世帯にアンケートを実施していただければと思います。市民の方からはいつのまに決まったのといった苦情もくるかと思われまますので、面倒で大変なことだと思いますが、このくらいのことをやっていただいて他市町村からも川越市を見本にと言われるくらいにしてほしいと思います。

事 務 局

先程、ごみの減量化について、はご指摘ありましたが、平成22年度の1人1日あたりの家庭系のごみの量全体も下がっていることや、世帯数が上がっていることから考えても、平成21年度の520gよりは下がるのではないかと考えます。ただ、減量施策につきましても、引き続き進めておりますが、減量効果も限られることから新たな減量施策を実施しないと、実際に減量にご協力いただいたり、啓発の話を聞いていただいている方もいらっしゃいますが、これが市全体の何割になるかというのは、アンケートをすればはっきりするわけですが、関心等をもっている方は少ないのではないかと思います。現在、多くの方がごみを排出しておりますが、税負担ですと同じような負担でごみを排出することになり不公平感が生じますので、有料化をさせていただきその収入を何らかの形で市民の皆様に、還元できる仕組み作りを考えたいと、それが有効な施策であり、ごみ減量に有効であることを知っていただきたいと考えております。本日いろいろなご意見をいただいておりますが、今すぐに有料化をするというわけではございません。ただ、ある程度のごみ減量は進んでいる中で、新たな施策として有料化は有効な施策ですし、今回頂いている意見についてもすでに資料を出させていただいている場合もありますので、今回いただいた意見やこれからいただく意見、それから、先進市の制度内容についての資料等も次回以降示させていただきますので、今すぐというわ

	<p>けではなく将来的なことということで、この審議会にて検討を行っていただければと考えております。</p>
<p>事務局</p>	<p>副議長さんからもありましたが、当初の予定としては次回に中間報告をとりまとめるということになっておりますが、かなり大きな問題ですので、十分にご審議いただくということで、委員の皆様のご理解をいただければ、このスケジュールどおりではなく、あと1、2回審議の場を設けさせていただければと考えておりますが、いかがでしょうか。</p>
<p>議長</p>	<p>いかがでしょうか。次回引き続き審議によりご意見等をいただき、次に事務局より素案を示していただくようなことで、あと1、2回審議会を実施するというところでよろしいでしょうか。</p>
<p>審議員</p>	<p>【異議なし】</p>
<p>事務局</p>	<p>本日、資料をお渡しするのも遅れておりますし、委員さんよりご質問ありました平成22年度の状況ですとか、他市の有料化後等の状況ですとかを資料にまとめたものを議論の資料として事前にお出しします。また、中間報告をまとめいただくためのたたき台といったものを作成させていただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>審議員</p>	<p>戸別収集について、10年程前に北区で戸別収集を見たことがありまして、各家の前にスーパーの袋が置いてありまして、どれがどこのごみというのがはっきり分かりまして、これはいい方法だとその頃は思ったわけです。袋を作って決まった場所に出して収集をする方法ですと、集積所は結局誰かが掃除をすることになり、掃除をした人が残っているごみを処理しなければならないわけです。結局のところ出した人ではなく周りの人が迷惑をするといったことをなくすには、戸別収集が良いかと思うのですが、戸別収集した場合の費用と袋での有料化の対比を出していただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご希望があればお出ししたいと思います。</p>
<p>審議員</p>	<p>中間報告の書きぶりについてですが、平成7年より審議を行ってきてそろそろいいだろうといった感じや最終処分場や財政の問題でといった感じがして、私も確かにそろそろかなと思うのですが、現状でご</p>

	<p>み排出量が減少してきている中で、有料化をいつから実施するのかということをおもなにかに解りやすく発していくことが大事なのかなと思ひます。たぶんこのままでは執行部の方で有料化の方に色濃く書くのだからと思ひますが、出来れば市民の満場一致とはいかないと思ひますが、選択肢を残したような書きぶりでお願ひしたいと思ひます。</p>
審 議 員	<p>資料5では、20リットルで試算してありますが、資料8では30リットルで試算しているのだから、試算する場合はどちらかに統一してもらおうと思ひます。</p>
審 議 員	<p>資料についてですが、会議の事前には資料に目を通しておく必要があると思ひるので、ぜひ会議前に資料をいただければと思ひます。</p>
審 議 員	<p>私の周りの方に聞いたところほとんどの方が有料化に賛成だということだったのですが、不法投棄はどうするのといった意見がありました。不法投棄については検討するとあるが、これについてはきちんとしなくてはならないと思ひておひります。どこの地域でも不法投棄の問題が出ており、市民の方も新聞等で良く知っておひります。なので不法投棄についてはしっかりと考へてもらいたいと思ひます。また、戸別収集にといった意見もありました。ですから早く市民の方に公表して賛同を得ることが大事だと思ひます。</p>
審 議 員	<p>戸別収集をした場合に、どのくらいの費用・時間がかかるのか教えていただければと思ひます。</p>
事 務 局	<p>戸別収集にした場合の費用・時間やメリット・デメリットについても示していきたくと思ひます。</p>
審 議 員	<p>先程、有料化について周りではほとんどの方が賛成だったという意見がありましたが、全体で考へると賛成の方は少ないように思われまひす。現在これだけ経済状況が悪化している中で、低所得者等への対策とも書いてありますが、本当に有料化をしてごみが減るのかということや有料化する前に現況でも減量が進んでいる中においても、可燃ごみの中にまだ資源化出来る紙類等を入れてしまっている方がいます。また、レジ袋がごみ袋として利用出来ることから、やはりこういうところから自分でマイバッグを使ってという方もいますので、有料化の前にモラルや意識の改革が必要だと思ひます。自分も含めてごみの減量について考へていかなくてはならないと思ひるので、ごみの減量につ</p>

	<p>いて市民の方に知らせて広めていくべきと考えております。</p>
審 議 員	<p>平成21年11月に市民アンケートを取っていて、ごみ処理基本計画に盛り込む為に行っていると思いますが、アンケートの中には資源がどういった風に資源化されているか解りづらいといった自由な意見がありますが、このような市民の方の意見についての市としての考えというのは市民の方に伝わっているのでしょうか。市の回答は広報に掲載されているみたいですが、市のこれからの取り組みについては伝わっているのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>アンケートの回答については、インターネットにて公開いたしました。また、委員さんの指摘どおりこのアンケートは、ごみ処理基本計画に盛り込み施策を活かすための参考として掲載いたしましたので、市の取り組みについては、特に掲載等していません。</p>
審 議 員	<p>これから市民の方に有料化についてのアンケート等を取ると思うのですが、そこにちゃんと返してあげないといけないと思います。</p>
事 務 局	<p>今日のパワーポイントの中にも市民への意見を聴取することも明記されておりますとおり、中間報告という有料化制度を説明する機会においてその方法論を示して、こういった制度はいかがでしょうかといった、ご案内をさせていただきたいと考えております。アンケートにつきましても、中間報告の説明を行った際にその感想として実施していきたいと考えております。</p>
審 議 員	<p>有料化した場合に不法投棄が増加するという事は市民の方も予想されることだと思うのですが、場所というのはコンビニや駅のごみ箱だったりするわけで、そういう予想される場所のごみの量、現時点でも不法投棄があると思うのですが若干、そして現時点でどのくらいのごみの量で、有料化した直後にごみが増えたということであればそこも不法投棄先であると言えると思うので、実際に事業者よりデータを取れば市の対策にもなると思います。</p>
事 務 局	<p>現状でも委員さんからお話しのありましたケースはあると思いますので、既に有料化を実施している他市の状況も確認して、今後の不法投棄対策の中で示していければと考えております。</p>
審 議 員	<p>今の話で実例があるのですが、不法投棄したことにより減量が減っ</p>

	たというのがあり、捨てたから減ったというのはいずれとも思います。
審 議 員	市政への満足度といったことから言えば、アンケートを取ったらちゃんと回答等をした方が満足度も上がりますし、意識も高まると思うので、回答等はしっかりしていただければと思います。
審 議 員	かわごえ環境推進員さんという方たちがいらっしゃいますが、広報等に掲載しても読まない方が多い中で、地域から選出されているということで、こういう方は地域の状況もよく知っていると思われまので、そういった方の力を借りて地域に浸透させるということも必要ではないかと思えます。
事 務 局	環境推進員の協議会もありますので、まずは推進員さんに協力を願っていきたくて考えております。また、川越市の状況については、6月10日号から継続して、ごみの減量についての記事を掲載しております。
議 長	環境推進員は何名ぐらいいるのですか。
事 務 局	約860名います。 また、連絡事項ですが、審議会の会議録をホームページの中で掲載しております。今後、随時更新して市民の方にも示していきますので、ぜひ審議員の皆様もホームページをご覧ください。
議 長	他にご質問ございますでしょうか。ないようでしたら、以上をもちまして議事を終了いたします。 続きまして、次第4のその他について、事務局何かありますか。
事 務 局	次回以降の審議会は、第5回が2月10日（金）に市役所7階第5委員会室での開催を予定しております。通知文は、後日郵送いたしますので、よろしく願いいたします。
会 長	ありがとうございました。それでは、これをもちまして議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。 それでは、閉会のあいさつを副会長よりお願いいたします。
副 会 長	ありがとうございます。以上をもちまして、本審議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

